



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL:<http://www.mokusankyo.jp>
E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 木産協三役会開催!! | 4. グリーン住宅ポイント制度が始まります |
| 2. 協和木材(株) 新センター紹介!! | 6. お知らせ (林野庁木材産業課) |
| 3. 県産木材輸出打合せについて!! | 7. お知らせ (林業労働災害について) |



1 木産協三役会議開催!! (理事会に向けた調整等)

4月15日山形県産業創造支援センター会議室(山形市松栄)において、令和3年度第1回三役会議を開催した。コロナ過での木産協の活動報告と今年度事業計画等について意見交換を実施した。この内容は5月10日開催予定の理事会の中で理事の皆様から意見等いただき、同月下旬に予定している木産協第47回通常総会資料として会員の皆様からご賛同をいただきたくお願いする予定となっています。昨年度の木産協事業の大きな変更点は、まず第30回山形県林業まつりが中止となったことがあげられます。関係会議やまつり準備作業等がなくなり、事務軽減となった一方、補助金や事業支援金が大幅に減となりました。また、素材生産関係では7月~9月の約3か月間に協和木材の集成材、セイホク・石巻合板工業の合板などの原木入荷がコロナの影響を受け一斉に止まったことにより、出荷調整手数料等が大きく減少しました。また、東京での会議(全木連や政治連盟、都市木造連等)が書面決議かWeb会議となったため、移動旅費が減額になりました。イベント関係(木と住まいの大博覧会仙台会場と東京会場、東京木材コレクション)も中止となり、出展費用等が減額になりました。唯一東京MOCTION(2/4-16)のみが、東京都職員の協力により出展できたところです。さらに木産協理事会・総会・各部会総会等も書面決議となり会議費が減額となりました。なお、詳細については、5/10の理事会後にご案内する総会決議案資料をご確認ください。

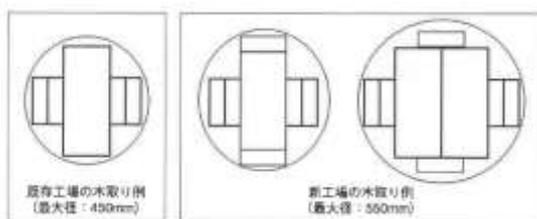
さて、コロナ禍ではありますが、木材業界にも激震が襲ってきております。世界的なコロナの影響を受けて、米国では財政出動による住宅支援等もあり好調な住宅着工により米材の価格上昇と西部地区の山火事多発等による品不足が広がり国内需要が逼迫したため、輸出木材(米マツ等)が昨年末頃から滞り、国内最大手の中国木材が木材価格の値上げと出荷調整を始めたところ、欧州材(ホワイトウッド・レッドウッド等)ラミナや集成材もコロナの影響で値上げと品不足が表面化してきました。同時に原油高もあり、船賃の値上げや中国経済の増大に伴うコンテナ不足等あらゆるものが値上げと品不足の様相となっています。これは、全ての資材に言えることで、通常木材が高騰すると代替資材の鉄製品に移行しますが、今回は鉄製品も大幅な値上げになっているようです。国内事情に戻りますが、輸入元の中国木材等の出荷調整から外れた製材工場・プレカット工場・商社・市場・工務店等が資材不足に陥り、その代替材確保のため、国産材を求めているのが現状なのかなと考えます。輸入材比率の高い企業は深刻な問題です。国産材比率の高い工場等は在庫をうまく利用いただき、なじみの顧客を優先に半年程度は持ちこたえていただきたいと思います。次からは、高い原木を求めることになるかもしれません。素材生産の皆さんは、製材品の最新価格を参考に採材等勘案し、より収益率の良い出荷先をご検討ください。



2 協和木材(株)新庄工場 新センター紹介!!

4月14日協和木材(株)新庄工場の新型センター製材機(SHC-550:共和キカイ)を見学できたので紹介します。この製材機は、高性能高速機械で角材と板材の製材、チップングを同時に行うことができます。(図) これまでは、同製材機(SHC-450)で最大径450mmまでの原木を製材してきました。基本的に、芯部分から平角のブロックを取り、周辺からラミナの板を取り、ブロックをギャグリップソーでラミナの板を量産するシステムです。今回の新型SHC-550はさらに大径材(最大径550mm)にも対応できるよう芯部分のブロックを2丁取りできる設計になっています。ちょうど大径材がセンターから出てくる写真が撮れました。その後、大型ブロックが次の機械で平角2丁となります。本センターは1月から試験運転を続けており4月から本格稼働しています。これらにより、原木消費量11,000m³/月から、約1.5倍の16,000m³/月に拡大する見込みです。また、製材の能力アップに伴い乾燥機も新たに6基(容量120m³)増設し、建屋も工場事務所棟向かいの土場北側に設置しています。事業費は約16億円で林野庁補助事業にて約7億円が支援されています。

木産協としては、協和木材から原木集荷量の大幅アップの要請がありますが、素材生産部会の協力体制を整えるためにも現在他地域で見られるよう原木買取価格の見直しを要求しています。また、径級が大きくなったことから、皆伐材の出荷にも対応できる可能性が増えたことから、会員のご協力をお願いします。



3 県産木材輸出打合せについて!!

4月27日木産協酒田飽海支部(酒田港木工団地組合会議室)において、県産木材の輸出について今年度事業計画等意見交換を実施した。これは、県産スギ材の大径材や黒芯材を中心に、比較的製材工場から評価されない元玉部分の有効利用を図るため、また、酒田港の木材積み出し港としての再興のため、地域経済の振興のため、出荷先のリスク分散のため、原木(中国・東南アジア等)と新たに製材品(北米向けフェンス用)出荷をめざしているものです。現在、米国では住宅着工数とフェンス等外構部材の需要が急増しています。また、旺盛な中国木材産業事情や、欧州材の高騰、コロナによるコンテナ不足等複雑な情勢となっ



おります。そのような中、2×4材の製材品出荷について、素材と製材における様々な課題について、可能性を探ってきたところです。ただ、ここにきて製材業界がコロナ等による外材不足に伴う県産材受注が急増したことで、すぐの対応が厳しくなった実情にあります。これまで半年をかけて議論してきた経緯も踏まえながら、早期の出荷に向けた具体的なロードマップを作成し、第一陣に繋げていきたいと考えています。

4 グリーン住宅ポイント制度が始まります!! (国交省補正予算)



グリーン住宅ポイント制度とは、国交省住宅局の令和2年度補正予算で、グリーン社会の実現および地域における民需主導の好循環の実現等に資する住宅投資の喚起を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ経済の回復を図るため、一定の性能を有する住宅を取得する者等に対して、「新たな日常」及び「防災」に対応した追加工事や様々な商品と交換できるポイントを発行する制度です。正式事業名は「グリーン住宅ポイントによる環境対応等住宅需要喚起対策事業」で国土交通省令和2年度第三次補正予算です。予算額は1,094億円で、申請期間は令和3年3月29日～10月31日まで。一例として一定の省エネ性能を有する新築住宅で通常40万ポイント、特殊事情(東京からの移住、災害地からの移住、三世帯住宅等)に合致すれば最大100万ポイントが発行され、商品や追加工事に利用できる仕組みです。詳細はHP「えこぼ」ポータルサイトに掲載中。

5 日本百名山シリーズ紹介(大山:ダイセン)

不思議と中国地方の百名山は伯耆富士と呼ばれる大山(1,729m)だけである。米子駅など見る角度によっては一番本物富士山に近いと感じる。鳥取県ではあるが、西部に位置し、アクセスは岡山駅から特急で2時間の米子駅利用が便利で、中腹にある大山寺まではバスの便も多い。自然林も多く残り、山形の山寺に近いイメージの参道が続く。登山道に入るとすぐに西日本一のブナ林の中を歩くことになる。ここの木製階段の段差が比較的大きく、小柄な方は登るのに少し辛そうに感じる。8合



目からは鳥取県の天然記念物になっているダイセンキャラボクの群生地の中を整備された木道の上を歩き真横に見ることができる。また、山頂弥山(ミセン)は有名な一木一石運動が続いており、ハゲ山から植生の復活が少しずつではあるが確実に進んでいることが確認できる。山頂からは、最高峰の剣ガ峰(崩壊の恐れから現在登山禁止)や中国地方の山々、米子平野、宍道湖、中海、日本海など360度で、西日本一の絶景を見ることができる。

6 お知らせ（林野庁木材産業課から）

事務連絡
令和3年4月30日

一般社団法人 全国木材組合連合会
会長 鈴木 和雄 殿

林野庁林政部木材産業課長

住宅建築用木材製品の需給に係る協力依頼について

日頃より、林業・木材産業施策の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

今般、北米等における住宅需要の高まりによる木材需要の増大や産地価格の上昇、世界的な海上コンテナの不足や海上運賃の上昇などにより、住宅建築等に必要な外国産木材製品等の輸入量減少と価格の上昇が生じており、その代替として国産材製品への引き合いも強くなる中、一部事業者からは木材製品が入手しづらい状況にあるとの声が聞こえてきている状況です。

つきましては、今後の更なる需給逼迫への懸念等を踏まえ、下記の内容についてご協力いただきますようお願いいたします。

また、会員各位へもこの旨周知のほど、併せてお願いいたします。

記

1. 住宅建築等に必要な木質資材の実需に基づく適切な発注、過剰な在庫の保有の抑制
2. 上記1に関連した木材流通に係る情報提供

※ 情報提供いただく際は、下記アドレス宛てにご報告ください。

いただいた情報については、個別に回答いたしません。取扱を十分注意した上で当庁において今後の調査に活用させていただきます。

なお、電話による情報提供やお問い合わせはお受けしかねますので、あらかじめご了承ください。

<情報提供アドレス>

wood_ind@maff.go.jp

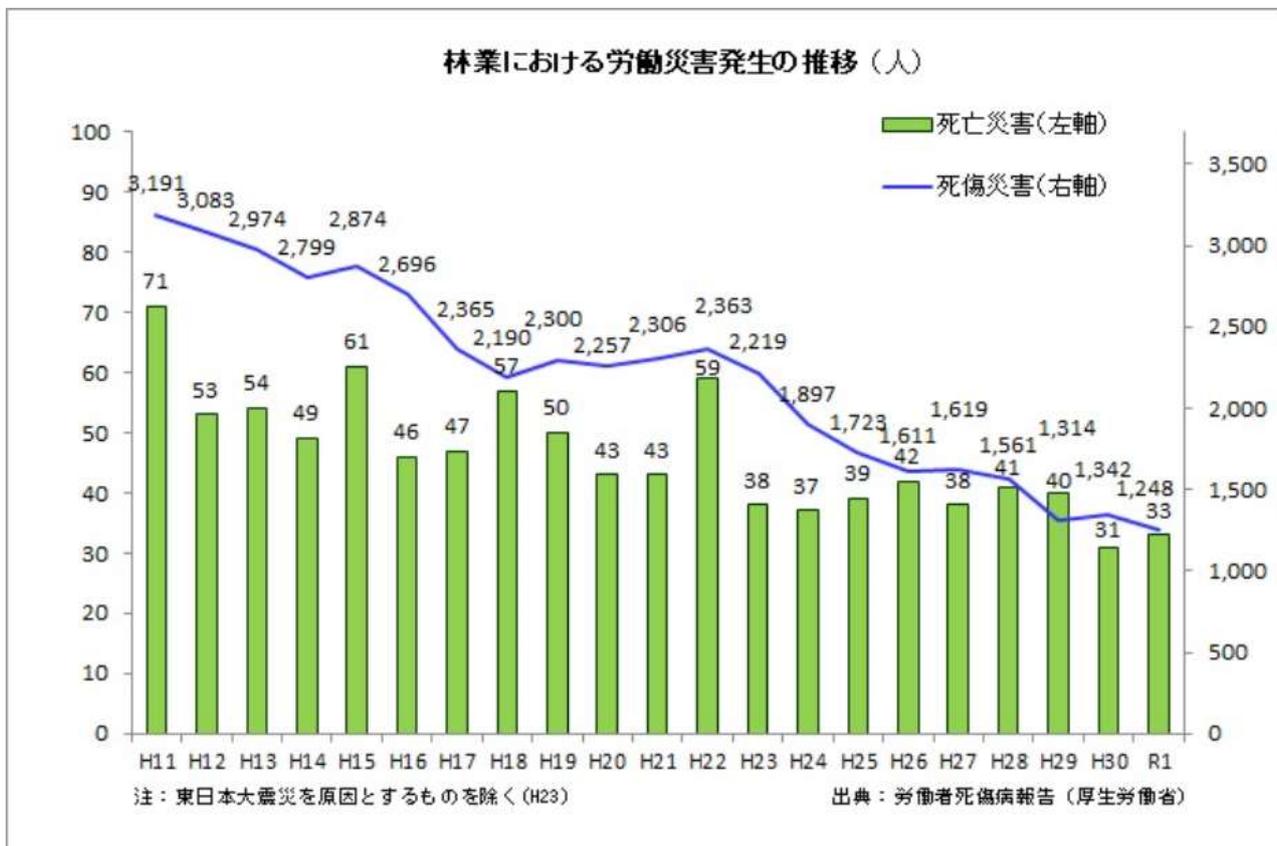
木産協会員各位

ご協力よろしくをお願いいたします。

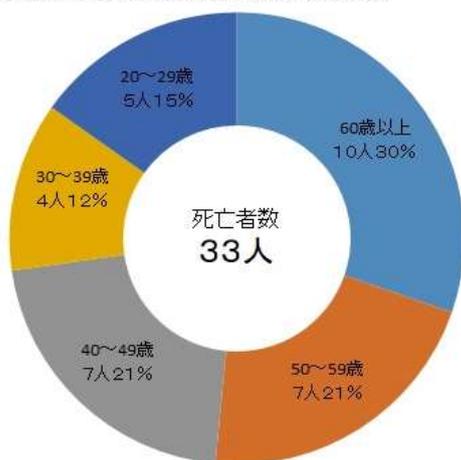
木産協専務理事 鈴木健治

7 お知らせ (令和元年度林業労働災害について)

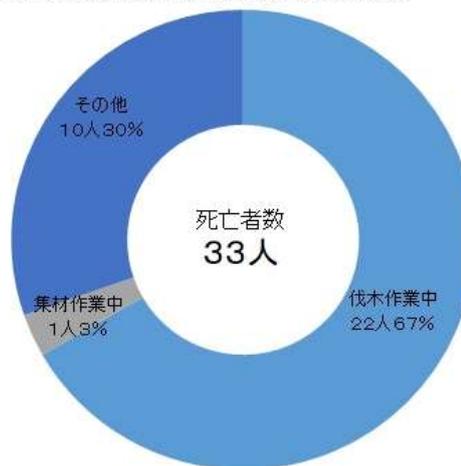
(出典：林野庁ホームページ抜粋)



(図1) 年齢別死亡災害発生状況 (令和元年の林業)



(図2) 作業種別死亡災害発生状況 (令和元年の林業)



都道府県別の労働災害発生状況

(1) 死傷災害 (休業4日以上)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
北海道	120	102	125	99	90	102
青森県	24	21	25	23	21	30
岩手県	71	55	60	56	41	44
宮城県	33	28	37	29	32	26
秋田県	38	46	40	34	39	41
山形県	25	22	21	7	12	15
福島県	32	24	45	25	38	29

(2) 死亡災害

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
北海道	4	4	5	5	6	8
青森県	0	0	0	3	0	2
岩手県	0	3	3	4	2	0
宮城県	1	0	1	0	1	1
秋田県	0	3	1	1	3	0
山形県	0	3	0	0	1	1
福島県	2	1	1	0	1	1

単位:人

8 住宅着工状況

令和3年3月期の県内新設住宅着工戸数は362戸となり、対前月比99.5%、対前年同月比87.4%、対前年累計比は91.0%となった。県内年度戸数が6年ぶりに5千戸を下回り、4,910戸となった。コロナ禍でも、市町村別では山形市、米沢市、酒田市が伸びている。

1 県内新設住宅着工戸数(令和3年3月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年(元年)	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
R2.3月	414	281	74	0	59	410	4	388	93.7%	295	6	87
R2.1月～3月	1,059	595	298	1	165	1,053	6	931	87.9%	642	24	265
4月	543	295	185	0	63	528	15	489	90.1%	328	12	149
5月	367	233	77	1	56	364	3	326	88.8%	264	5	57
6月	456	292	92	0	72	447	9	412	90.4%	329	8	75
7月	456	251	118	0	87	451	5	416	91.2%	304	4	108
8月	540	296	201	3	40	534	6	480	88.9%	304	10	166
9月	407	260	86	1	60	401	6	366	89.9%	289	7	70
10月	441	268	116	0	57	433	8	412	93.4%	314	9	89
11月	380	247	81	1	51	371	9	332	87.4%	262	3	67
12月	356	202	84	0	70	353	3	316	88.8%	223	5	88
03.1月	238	130	63	0	45	177	61	198	83.2%	148	6	44
2月	364	173	76	0	115	355	9	242	66.5%	180	4	58
3月	362	215	94	2	51	357	5	340	93.9%	231	5	104
対前月比	99.5%	124.3%	123.7%	-	44.3%	100.6%	55.6%	140.5%	-	128.3%	125.0%	179.3%
対前年同月比	87.4%	76.5%	127.0%	-	86.4%	87.1%	125.0%	87.6%	-	78.3%	83.3%	119.5%
02.1～当月計	1,059	595	298	1	165	1,053	6	931	87.9%	642	24	265
03.1～当月計	964	518	233	2	211	889	75	780	80.9%	559	15	206
対累計前年比	91.0%	87.1%	78.2%	200.0%	127.9%	84.4%	1250.0%	83.8%	-	87.1%	62.5%	77.7%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和3年3月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	362	964	87.4%	91.0%	780
山形市	99	364	122.2%	113.0%	206
上山市	5	30	50.0%	200.0%	29
天童市	20	69	44.4%	58.5%	68
山辺町	3	11	50.0%	157.1%	10
中山町	0	1	0.0%	50.0%	1
東南村山	127	475	88.2%	102.4%	314
寒河江市	14	25	87.5%	73.5%	25
河北町	16	20	228.6%	76.9%	20
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	1	1	50.0%	20.0%	1
大江町	1	1	100.0%	20.0%	1
西村山	32	47	123.1%	67.1%	47
村山市	2	7	40.0%	58.3%	7
東根市	33	94	63.5%	87.0%	88
尾花沢市	3	6	100.0%	100.0%	5
大石田町	0	1	0.0%	50.0%	1
北村山	38	108	61.3%	84.4%	101
村山地域	197	630	84.9%	95.2%	462
新庄市	18	24	138.5%	120.0%	24
金山町	1	1	-	-	1
最上町	0	0	0.0%	0.0%	0
舟形町	0	2	-	-	2
真室川町	0	0	0.0%	0.0%	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	0.0%	0.0%	0
鮭川村	0	0	0.0%	0.0%	0
戸沢村	0	1	-	-	1
最上地域	19	28	100.0%	100.0%	28
米沢市	37	55	112.1%	105.8%	53
南陽市	4	10	18.2%	32.3%	9
高島町	7	10	140.0%	111.1%	10
川西町	1	5	25.0%	100.0%	4
東南置賜	49	80	76.6%	82.5%	76
長井市	2	15	100.0%	100.0%	15
小国町	1	1	100.0%	100.0%	1
白鷹町	1	3	-	150.0%	3
飯豊町	0	0	-	0.0%	0
西置賜	4	19	133.3%	100.0%	19
置賜地域	53	99	79.1%	85.3%	95
鶴岡市	38	90	74.5%	66.7%	88
三川町	1	4	50.0%	80.0%	4
庄内町	5	12	62.5%	85.7%	11
田川	44	106	72.1%	68.8%	103
酒田市	48	99	145.5%	105.3%	90
遊佐町	1	2	50.0%	40.0%	2
飽海	49	101	140.0%	102.0%	92
庄内地域	93	207	96.9%	81.8%	195

注:累計は令和3年1月～